

おだがいさま

odagaisama

111号
令和6年
4月1日発行



**一緒に学び、笑顔でつながる
若きボランティアたち!**

令和6年2月4日(日)、鶴岡市内で活躍する高校生等ボランティアのみなさんを対象に「高校生等ボランティア交流会 in 鶴岡2023」が開催されました。この交流会は、活動や想いを互いに知ることを目的に開催され、6団体19名(高校生11名、中学生2名、顧問・事務局6名)が参加しました。前半は各団体の活動発表、後半は障がいへの理解を深めるための研修会が行われました。研修会では「花笠ほ一ぱ隊」*が講師となり、言葉だけで指示された図形を紙に書いたり、軍手を使って細かい作業をするなどの疑似体験を通して障がいの特性を学び、障がいへの理解を深めました。

*花笠ほ一ぱ隊は、知的・発達障がいのある家族がいる人や、活動に賛同する県内の人たちで構成され、出前講座などを通して障がいを正しく理解してもらうための啓発活動を行っている団体です。

参加者からは「各校やサークルの活動をより深く知ることができてよかった。」「障がいのある方の不便さや困難さを疑似体験で分かりやすく学ぶことができた。」といった声が多く聞かれました。

この交流会をきっかけに活動が広がり、ボランティア同士のつながりが強くなること、また、障がいへの理解が深まり誰もが住みやすいまちづくりにつながることを期待します。





スクリーンから 地域にひろがる

ふくしの輪

山王キネまち大学
2023

令和5年春、再生オープンした映画館「鶴岡まちなかキネマ」を拠点に市民が主役となる新たな学びの場「山王キネまち大学」が始まりました。この取組は、映画館のホールやステージ、隣接する山王商店街などをフィールドに、多彩な講座やワークショップを実施し、市民の学びや交流の場に活用していく事業です。



令和5年度は、まちキネを運営する山王まちづくり株式会社、NPO 法人公益のふるさと創り鶴岡、鶴岡市社会福祉協議会の三者が連携し、映画・福祉・商店街活動を結びつけたイベントに取り組みました。

その中で鶴岡市社会福祉協議会では、障がい、認知症、地域づくり等をテーマにした映画の上映に合わせて、福祉について考えるきっかけや福祉への理解を深めることができるようなコラボ事業を企画し実施してきました。今回は、様々な内容で7月から実施してきた映画と福祉のコラボ事業を振り返ります。

「山王キネまち大学2023」には、「まちづくり」と「映画」の視点が欠かせません。実際に携わっているお二人にお話を伺いました。

● NPO 法人公益のふるさと創り鶴岡

常務理事 阿部 等さん

一度まちキネが閉館し、その後市民レベルでまちキネ再生の機運が高まる中で、独立行政法人福祉医療機構の助成金活用が可能となり、「山王キネまち大学」を始めることができました。この事業を通して、福祉の理解・啓発と共に若い人から映画館を身近に感じてもらえるきっかけにもなったと思います。

今後は、市民参加型のワークショップやフィールドワークによるマップ作りなども検討しており、引き続き地域に関わる全ての人に愛され支えられる地域密着型の交流の場づくりを目指していきます。

● 山王まちづくり株式会社

鶴岡まちなかキネマ支配人 齋藤拓也さん

今年度より始まった「山王キネまち大学」で映画と福祉の様々なコラボ事業を実施してきました。トークイベントの際には、手話通訳や要約筆記の方にも協力していただき、私自身も福祉について学ぶことが多くありました。また、バリアフリー字幕付き上映を積極的に取り入れたことで、耳が聞こえにくいなど障がいのある方にも映画を楽しんでもらえる機会を増やせたかと思っています。

コラボ事業実施後のアンケートでは、初めてまちキネに足を運びきっかけになったという声が多数ありました。今後もまちキネが映画を楽しみ、地域の学びの場となるように、この取り組みを関係各所、市民の皆さんの理解と協力を得ながら継続していきたいと考えています。

「山王キネまち大学2023」で実施した映画と福祉の
コラボ事業の一部を紹介します！



R5.8

映画「30(さんまる)」と
監督とのトークディスカッション

ストーリー

兵庫県で30代の人たちが中心に運営する多世代型シェアハウス「はっぴーの家ろっけん」を、鈴木七沖監督が3年間追いつけたドキュメンタリー映画。

鶴岡市内の介護・福祉関係者が参加し、鈴木監督とのトークディスカッションを行いました。映画とトークを通じて将来の鶴岡の福祉や地域のあるべき姿、今後の少子高齢化が進む日本にとって何が大切なのかを考える良い機会となりました。



R5.11

映画「僕が君の耳になる」と
トークショー&ダンスワークショップ

ストーリー

ボーカル&手話パフォーマンスグループ「HAND SIGN」による同名楽曲が原案となっている。耳が不自由な女性と健聴男性の実話をもとにしたラブストーリー。

主演俳優で聴覚障がいがあるダンサーの梶本瑞希さんを招き、鶴岡中央高校生やダンスグループKickin' Dance Fam等とダンスワークショップを行いました。また、映画上映に合わせた梶本さんのトークショーでは、中央高校生がアナウンスや案内スタッフとして運営に携わってくれました。



R5.12

映画「オレンジランプ」と
トークショー

ストーリー

30代で若年性認知症と診断された丹野智文さん(仙台市)をモデルにして制作された。本人、家族、職場、地域の人たちの日常や心の変化を描いた映画。

トークショーでは、三原光尋監督、認知症看護認定看護師の富樫千代美さん、つるおかオレンジサポートの会副代表の五十嵐利恵さんが登壇し、この映画への想いや感想、日頃の取組等をお話いただきました。また、主人公のモデルとなった丹野さんから鶴岡の皆さんへのビデオメッセージも届けられました。



R6.2

映画「こんな夜更けにバナナかよ」と
トークショー

ストーリー

進行性筋ジストロフィーという難病を抱えながら自立生活を目指した鹿野靖明さんと、彼を支え共に生きるボランティアの人々や家族の姿を描いた映画。

トークショーでは、日頃から障がいのある方と関わりのある東北公益文科大学の五十嵐直人さん、鶴岡工業高等専門学校の太田隼人さん、酒田西高等学校の土門知生さんが登壇し、日頃の取組や活動を始めたきっかけ、活動を通じての学びなどをお話しました。難病や障がいのある人と、その人を支えて共に生きる人たちとの関係性を通して、「ボランティア」「誰もが暮らしやすい地域」「共生社会」などについて一緒に考える良い機会となりました。

「山王キネまち大学2023」では、他にも様々な活動を実施しています。
詳しい内容は、鶴岡まちなかキネマのホームページからご覧ください！



令和5年度 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動

ご協力ありがとうございました～運動結果並びに配分のご報告～

鶴岡市内の募金総額と内訳

戸別募金	15,734,036円
街頭募金	197,643円
学校募金	460,068円
法人募金	879,200円
職域募金	994,203円
イベント募金	75,400円
その他募金	399,578円
合計	18,740,128円

共同募金の使いみち

◆県共同募金会へ送金 14,924,128円

令和6年度に、福祉団体、NPO法人、福祉施設等が取り組む子育てや障がい者支援に、また、市社協が推進する支え合い活動やボランティア活動等の地域福祉活動に配分されます。

◆歳末たすけあい配分 3,816,000円

市内の経済的に支援を必要とする世帯(424世帯)、児童養護施設の入所児童・生徒に配分しました。



街頭募金へのご協力ありがとうございました

情報掲示板

鶴岡福祉バス予約会のお知らせ

(令和6年7月～令和7年3月分)

鶴岡福祉バスを予約するための予約会は
事前申込が必要です。

- 受付期間** 4月25日(木)～5月13日(月)
9時～17時(土日・祝日を除く)
※受付順番によって優位になることはありません。
※FAXや郵送での受付も可能ですが、土日の受付分は翌平日のご連絡になります。
- 受付窓口** 鶴岡市社会福祉協議会 本部事務局
(まちキネ隣)
- 対象期間** 7月～3月
(期間内で1団体1回の予約ができます)
- 利用対象** 旧鶴岡市区域に住所を有する団体
※福祉バスは観光や慰安目的でのご利用はできません。
- 予約会日時** 5月21日(火) 10時～12時
- 予約会会場** 鶴岡市社会福祉協議会 本部事務局
(まちキネ隣)
- 申込み・問合せ**
鶴岡市社会福祉協議会 総務課 福祉バス担当
TEL 26-7815 FAX 26-7837 (申請書は同所にあります)

令和6年度 「ふれあい福祉相談」のご案内

- 常設相談(職員対応)**
日時：月～金曜日(祝日を除く)
8時30分～17時15分
場所：各福祉センター(問合せ先 ページ下段に記載)
- 巡回弁護士相談(上半期4月～9月) 無料・要予約**

4月17日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター
5月15日(水) 10:00～15:00	羽黒福祉センター
6月19日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター
7月 3日(水) 10:00～15:00	櫛引福祉センター
7月17日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター
8月21日(水) 10:00～15:00	朝日福祉センター
9月18日(水) 10:00～15:00	鶴岡福祉センター

※相談は予約制となっており、各日程の1カ月前から予約を受け付けます。
※相談時間は30分、相談料金は無料です。
※基本的に鶴岡市内在住の方、初回相談の方を優先しています。

ご寄付ありがとうございました みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます
(令和6年1月1日から令和6年2月29日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

- ◎**鶴岡福祉センターへ**
・鶴岡市由良自治会 様 10,210円
- ◎**温海福祉センターへ**
・筒井 竹夫 様 10,000円
・本間 英機 様 100,000円

★地域福祉センターなえづへ

- ・鶴岡市立朝陽第二小学校 様 24,000円

★デイサービスセンターふれあいへ

- ・百瀬花 様 タオル137枚、バスタオル2枚

★特別養護老人ホームおおよまへ

- ・鶴岡市立京田小学校5年生 様 お米30kg

★高齢者福祉センターおおよまへ

- ・手づくりのつどい 様
手作り認知症マフ7個、
手提げ袋8袋、コースター6個、
飾り物1個、巾着袋4袋

★くしびき保育園へ

- ・(懶清川屋 様
お菓子(月山パイ、だだっパイ、山形の雪どけなど)
計210個

★くしびき南部保育園へ

- ・西荒屋若松会 様 タオル14枚

★温海デイサービスセンター愛寿園へ

- ・道の駅あつみ しゃりん 様 30,000円

★フードバンクへ

- ・末日聖徒イエス・キリスト教会 様 食料品65点
- ・鶴岡ごはん日本一実行委員会 様 お米45kg
- ・つるおか森の時間 様 食料品59点
- ・カーブス鶴岡ミーナ店 様 食料品108.7kg
- ・カーブス鶴岡大塚店 様 食料品85kg
- ・ダイナム鶴岡店 様 食料品83点

おだがいさま

第111号
令和6年4月1日発行
発行部数 47,700部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

本部事務局 鶴岡市山王町13番36号

TEL 0235-26-7815 FAX 0235-26-7837

ホームページ <https://www.shk01.jp/>

鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114



この広報誌は、赤い羽根共同募金配分金と社協会費を財源に発行しています。